

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
栄養総合演習 I Synthetic Seminar I of Nutrition and Dieticians		1年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(栄養士養成課程選択)	栄養士養成課程限定
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
栄養学 食品学 栄養指導論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
栄養士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
穂積元 ・ 小柳津周 ・ 高木道代	福祉棟2階、3階研究室	火・水曜日の講義時間外(担当教員の出勤日)		授業中に指示します
授業の概要				
栄養士の資格取得を目指す学生として、一般基礎学力・一般常識及び専門領域(食品、栄養、健康、調理)に関する基礎・実践的知識を演習の形態で幅広く学ぶことができるように授業内容を多様な項目で構成した。さらに栄養士としての職種の選択や就職活動につながる授業内容も設け、キャリア教育 I からIVと連携して資格取得意識や目的意識の向上を図る。				
授業の目標				
①幅広い基礎知識や一般常識の学び方を修得することができるようにする。 ②栄養士の資格取得及び基本業務を理解し、コミュニケーションの重要性を修得することができるようにする。 ③社会貢献の重要性を修得することができるようにする。				
授業の方法				
専任教員によるオムニバス。講義、グループ活動、その他				
学習の成果(学習成果)				
①栄養士として幅広い基礎知識を求められた場合には具体的に実践することができる。 ②栄養士の資格取得を目指す学生として、栄養士の基本業務、役割を認識し、栄養管理・健康管理について具体的に実践することができる。 ③修得したコミュニケーション能力を用いて地域の健康管理活動などに実践的に活用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス(単位評価法、学習方法、その他)			担当：小柳津周
第2回目	自己分析と目標設定の重要性について(レポート課題：提出日は第4回講義時)			担当：穂積元
第3回目	健康と食品及び栄養の関係について			担当：小柳津周
第4回目	基礎学力到達度確認テスト1と学習方法について			担当：穂積元
第5回目	栄養価計算の練習(1)			担当：高木道代
第6回目	栄養価計算の練習(2)			担当：高木道代

第7回目	栄養士の仕事研究(1) 病院、福祉施設等で働く栄養士の仕事の実態			担当：高木道代
第8回目	栄養士の仕事研究(2) 学校、保育所、事業所等で働く栄養士について			担当：小柳津周
第9回目	みかも祭の実実施計画、媒体作成(1)			担当：穂積元・小柳津周
第10回目	みかも祭の実実施計画、媒体作成(2)			担当：小柳津周・穂積元
第11回目	食育活動の現場からー保育所における取り組み事例から考えるー			担当：高木道代
第12回目	今なぜ、食育なの？食育って何？			担当：高木道代
第13回目	食品を構成する成分の消化・吸収機構の役割			担当：小柳津周
第14回目	基礎学力到達度確認テスト2と学習方法について			担当：穂積元
第15回目	進路について考える 就職先の検討、分析			担当：穂積元
成績評価の方法と基準				
評価の領域		割合	評価の基準	
授業参加態度		20%	①講義の目的、内容を理解して参加する(S=90)②予習・復習を行い参加する(A=80)③意欲なく参加する場合は評価が低い	
レポート		60%	①課題の目的、内容を理解し、原理や参考文献を用いてまとめる(S=90)②課題の目的、内容を理解し、疑問や質問など自身の考えをまとめる(A=80)③意欲のない場合は評価が低い	
調査報告書				
小テスト		10%	①基本的な内容が理解されている場合、B=70-79・C=60-69。②高度な内容が理解されている場合、S=90-100・A=80-89。③基本的な内容が理解できない場合、Dとなる。	
試験				
発表内容(態度含む)				
その他		10%	①共同で実施する課題に対し、献身的に参加する(S=90)②共同で実施する課題に対し、消極的な参加の場合には評価が低い	
教科書と参考図書				
各講義担当者が作成した資料を配布して講義を行う。				
履修上の留意点・ルール				
指導教員の指示・指導を厳守。講義の順番については変更の場合もある。提出レポート(資料等)については期限を厳守する。				

1年

専門科目
栄養士養成課程